

## 地球温暖化が環境に与える影響

川端厚子

(大阪信愛女学院短大)

目的：我々は、豊かさや便利さや快適さを追求して繁栄してきた。そのために大量生産大量消費による大量の廃棄物を投棄している。さらに大型化による冷蔵庫、テレビ、エアコン、車などに無駄なエネルギーを消費し、大気中に大量の二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を排出してきた。CO<sub>2</sub>の量は現在、地球の吸収能力の3倍を超えており早急に10-20%以下に削減しないと地球は危険な状態に陥る。本研究ではCO<sub>2</sub>の増加の原因と環境破壊を調査して地球温暖化防止の方法と対策について研究を行うことを目的とした。

方法：地球温暖化のメカニズムや影響について調査し、参考文献や資料などの収集を行った。さらにマスメディアにおける関心度を調査し新聞や雑誌などによる関連記事の収集を行った。そして地球温暖化の防止と対策について調査し考察を加えた。

結果：1980年以降から世界各地で高温が記録されるようになった。この異常気象を調査しているIPCC(気候変動に関する政府間パネル)の報告によれば、今後100年先では地球の温度は約2°C高くなり南極や北極の氷が解けて海面が約65cm上昇し、氷が解ける場合に津波が発生し、海拔の低い陸地は、海中に沈没するといわれている。農地も海水に浸食されると食糧危機に陥る。都市のヒートアイランド現象や水の消費量の増加に伴う水質悪化や光化学オキシダントによる目の炎症や肺機能の低下などが発生する。ヨーロッパ5ヶ国では、炭素税や環境税を導入して地球温暖化防止の対策を講じている。しかし日本人は、一人当たり平均40KgのCO<sub>2</sub>を排出しているが対策が遅い。我々は、率先して環境保全に向けて努力し安心して住める健全な地球を残していきたいものである。